

理解を
深めよう

ちくせい地域医療シンポジウム

今回のシンポジウムは、現在の筑西市における地域医療の現状を知るとともに、意見交換をととして「地域医療を守るためには何が必要か」を見つめ直す場です。ぜひ、参加してください。

9/21日

開場：午後1時
開会：午後1時30分

場 所 コミュニティプラザ（スピカビル6階）

参加費 無料

定 員 200人（先着順）

申込方法 9/12（金）までに電話又はWebで

申・問 地域医療推進課（本庁2階） ☎22-0535



申込みはこちら

講 演

午後1時35分～

「地域医療の動向」

講師 自治医科大学地域医療学部門教授

小谷 和彦氏

シンポジウム

午後2時15分～

「筑西市の地域医療の現状」

座長 筑西市地域医療推進センター長

梶井 英治氏

パネリスト

西部メディカルセンター内科部長

小松 憲一氏

とみざわハートクリニック院長

富澤 英紀氏

筑西診療所所長

近藤 匡氏

筑西広域消防本部警防課救急グループ長

増子 明彦氏

地域医療は誰のもの？
みんなでつくろう、みんなの地域医療

地域医療は、地域に暮らす人たちの健康・命を守る医療体制です。

超高齢化が進展している今、地域医療は病気を治すことに加え、闘病への支援や生活の見守りなど、幅広い役割が求められます。

これからの地域医療づくりを担うのは誰でしょうか。それは地域みなさんです。立場を問わず地域医療の利用者であると同時に、守り手として



座長 梶井 英治氏

「さあ、みんなで始めましょう、みんなの地域医療づくり」

てづくり手でもあります。当シンポジウムをとおして、大切な地域医療を守り育てるために各々ができるのか考え、活動の第一歩を踏み出していだきたく思います。

～ 地域医療について一緒に考えよう ～

地域医療は地域住民が安心して暮らすためには必要不可欠です。地域医療を守るためにみなさんの協力をお願いします。

筑西市が抱える現状



人口減少

2025年 96,696人
（令和7年6月1日現在）

↓

2050年 67,207人

（国立社会保障・人口問題研究所の推計）

25年間で 3万人の減少

高齢化率

2025年 34.1%
（令和7年6月1日現在）

↓

2050年 45.4%

（国立社会保障・人口問題研究所の推計）

25年間で 10%の上昇

医師の偏在

人口10万人あたり…

筑西市 151.4人

茨城県 212.3人

全国 274.7人

（令和4年12月31日現在）

全国平均の約半数



限られた医療資源で地域医療を支えあう意識を持つことが大切なんだね